

# バックナンバーご案内



**■VOL.01**  
 ・食をめぐる人・仕事・自然  
 ～特別対談  
 ・歴史と文化の庄大根 他



**■VOL.02**  
 ・今さらながら地産地消って？  
 ・みかんが紡ぐ「つくり手物語」  
 ・べにふうきラブソディ 他



**■VOL.03**  
 ・優しい春のスイーツ特集  
 ・松山を、ライムの街へ 他



**■VOL.04**  
 ・おいしい魚で繋がる人と人  
 ・春のみかん『カラマンダリン』 他



**■VOL.05**  
 ・おいしいパン特集  
 ・発酵が作る『おいしい』世界  
 ・杖ノ瀬おいしい探訪 他



**■VOL.06**  
 ・昔ながらのお菓子を愉しむ  
 ・坊っちゃん島あわび 他



**■VOL.07**  
 ・まつやまの「夏」を味わう  
 ・老舗の職人をたずねて  
 ・松山長なす 他



**■VOL.08**  
 ・里島発見ワンデーツアー  
 ・老舗の職人をたずねて  
 ・伊台・五明 ころげんぶどう 他



**■VOL.09**  
 ・道後商店街おいしい探訪  
 ・子ども料理教室  
 ・瀬戸内の銀鱈煮干し 他



**■VOL.10**  
 ・笑顔とライムが咲き香る  
 ・食はいのち 佐藤初女講演会 他



**■VOL.11**  
 ・海の幸を使った松山特選料理『サンクメール』  
 ・400年の歴史を誇る名産～緋の無 他



**■VOL.12**  
 ・古くて新しい郷土料理「松山鮓」復興の物語  
 ・おうちごはんを大切に!! 食卓が家族をつなぐ 他



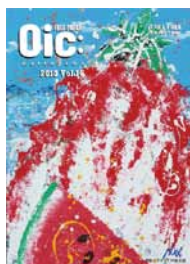
**■VOL.13**  
 ・正岡子規の愛した瀬戸の鯛料理  
 ・体も心もほっこりするスープアラカルト 他



**■VOL.14**  
 ・まつやまで地元食材を味わう  
 ・長年愛される喫茶店  
 ・oicmatsuyamaに寄せられた声 他



**■VOL.15**  
 ・仕事を極める青果流通の職人たち  
 ・こだわり続ける老舗の姿勢 他



**■VOL.16**  
 ・海を眺めながら北条へ  
 ・夏のおいしいお菓子  
 ・農業に 取り組む飲食店 他



**■VOL.17**  
 ・オーガニックは「食」からライフスタイルへ  
 ・農や食の現場で年を重ね、ますます輝く女性たち 他



**■VOL.18**  
 ・国際色豊かな「食」の座談会  
 ・松山食育レポート 心も身体も生き生き伸びる 他



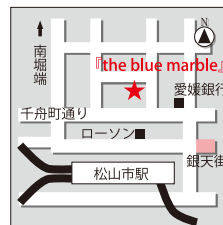
**■VOL.19**  
 ・商店街に行ってみよう、話してみよう  
 ・世界文化遺産『和食』  
 ・日本酒好き集まれ!! 他

## ◆バックナンバー設置店



ルブリユマツヤマ  
 (エヒメイズム・伊織)

松山市大街道 3-2-45  
 ☎ 089-993-7557  
 ⌚ 9:00 ~ 19:00  
 (土曜 20:00 まで)  
 (休) 年中無休



the blue marble  
 (ザ・ブルーマーブル)

松山市三番町 5-3-8  
 ☎ 089-945-3550  
 ⌚ 11:00 ~ 22:00  
 (日曜 18:00 まで)  
 (休) 月曜

## ◆在庫切れの号について

松山市ホームページにて、全ての号の閲覧・PDFのダウンロードが可能です。詳しくは『oic:matsuyama』で検索。

## ※在庫お問合せ

松山市産業経済部地域経済課 (TEL.089-948-6710)  
 または株式会社エイトワン  
 Oic:matsuyama 編集部 (TEL.090-9472-2975) まで

※設置協力店一覧は、松山市ホームページにて公開しております。  
 松山市ホームページ <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

長らく御愛読いただき、ありがとうございました。

## 編集後記

和菓子屋さんの取材時に、小学生の男の子がお母さんにホワイトデー用のプレゼントとして和菓子を買いに来ていました。なんだか涙が出そうな気持ちになる光景でした。和菓子屋さんの数が減っている現状をふまえて、もっと和菓子の素晴らしさを伝えるのは私たち大人の役目だと実感させられ、あの少年から学んだ気持ちになりました。【藤山健】  
 『感謝』まず最初に浮かぶ言葉です。不慣れなことの連続でパパバタと走り回り、気が付けば約2年半という月日。読んでいた

いた方達、取材に協力いただいた皆さん、裏方で支えてくれた人達、みなさん本当にありがとうございました。どこかで見かけたら気軽に声をかけて下さい。【相原豪】  
 「いただきます」という言葉は、食べ物に関わるたくさんの人々に感謝する言葉だと私達は小さいころから教わってきました。「おいしいまつやま」でたくさんの方々とお会いした私は、今、心から「いただきます」と唱えています。「おいしい」ドラマに一番感動し、一番ゆらぎ、一番励まされたのは私でした。本当にありがとうございました。【宮内香苗】

発行 松山市産業経済部  
 地域経済課  
 企画 大藪 崇・植木 美夫  
 監修・撮影 藤山 健  
 編集 宮内 香苗  
 DTP 相原 豪  
 制作 株式会社エイトワン  
 印刷製本 プラス印刷株式会社